

お知らせ

倉敷市立小学校の防災教育の教材に「逃げキッド」が採用されました

2020年度から倉敷市立小学校全63校で3、5年生を対象に防災教育の授業が導入されます。

水害に備えての各家庭での避難計画を立てる「マイ・タイムライン」の作成を促す教材として「マイ・タイムライン作成支援ツール～逃げキッド～」が採用されました。

今後も引き続き、多くの人に活用して頂けるよう、地域の方々と連携し周知に努めてまいります。

逃げキッドについては、当事務所 HP 下記アドレスよりダウンロードできます。

HP : <http://www.cgr.mlit.go.jp/takaoda/mytimeline/nigekid.html>

ご自宅に戻ったら みなおしてみよう

ヒントはこちら
倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップ
倉敷 ハザードマップ
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/1870.htm>

ご自宅や周辺のリスクを確認する

家のまわりは
どうなってるんだろう



避難先や避難ルートを具体的に決める

避難場所はここだね



ご家族の構成をふまえて、行動のタイミングを考える

車イスの方がいる家庭は、
早めに避難するのね



今日作成したマイ・タイムラインをもとに、ご家族や地域の方と話し合ってみる

こうやって逃げようね



作成したマイ・タイムラインを活用し、
「自分の逃げ方」を手に入れましょう！

マイ・タイムラインとは？

「マイ・タイムライン」は、台風接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる機動的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動計画案です。

急な判断が求められる洪水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

自分の家族構成や生活環境にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を手に入れましょう。

マイ・タイムラインを作成したあとは…

今回検討したマイ・タイムラインは基礎的なもので、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、事故や地域で話し合うなどし、防災行動を添削していくとよいでしょう。

またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではありません。家族が増えたり、離婚や学校が変わったりするときなど、自分自身の環境の変化に応じて、あらためて見直し、必要な防災行動を整理していきましょう。

マイ・タイムライン使用時の心得

洪水は自然現象であり、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません。マイ・タイムラインを作成すると、自分と家族がとるべき防災行動の「いつ」「誰が」「何を」が明確になりますが、注意点もあります。

マイ・タイムライン上の時間は、時計のように進むわけではありません。例えば、タイムライン上で災害発生3時間前となっても、水防団（消防団）の活動等によって進行を遅らせることができ、結果として3時間たっても災害に至らない場合も想定されます。そのため、実際の洪水においてマイ・タイムラインを使用する際には、次の心得を踏まえ行動してください。

心得1 あくまで行動の目安として認識する。

心得2 気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。

心得3 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にし、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

洪水はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません！

洪水によって異なります

- 台風の進み方
- 雨の降り方
- 川の水位の上がり方
- 氾濫した際の浸水深
- 氾濫した際の浸水継続時間

洪水に応じて臨機応変に発表・発令されず

気象警報の発表
洪水予報の発表
避難情報の発令

洪水に応じて臨機応変に対応しましょう

みなさんの事前のそなえが大切です。

岡山河川事務所
国土交通省
中国地方整備局

〒700-0914 岡山市北区藤田町 2-4-36
電話 (086) 223-5101
e-mail info-otakawa@cgr.mlit.go.jp

高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

〒710-1301 倉敷市真備町新田 1141-1
電話 (086) 397-1020
e-mail info-takoda@cgr.mlit.go.jp